



相ノ木っ子だより

令和元年度
学校だより
6月号
上市町立相ノ木小学校

挑戦せずして成功なし

「校長先生、わたし、記録更新したよ。練習の時、少しずつ伸びとったけど、今日ベストが出たよ」

上市町児童陸上競技記録会の選手種目走り幅跳びに出場した5年生の女の子が、2度の試技を終え、わたしにうれしそうに話してくれました。そして、見事2位に入りました。他にも、相ノ木小学校5・6年生は、たくさんの優勝や上位入賞を果たしました。また、上位入賞には至らなくても、それぞれの競技で走、跳、投に力一杯取り組む姿が見られました。これは、一緒に競技する子たちに負けたくない、一番になりたいという思いもあったでしょうが、自分の記録を少しでも速く、遠くという目当てをしっかりとって練習に励み、本番に臨んだからだと思います。人との比較よりも、自分の成長や伸びを目指す、そんな自身への挑戦心をこれからも大事にしていきたいものです。

「校長先生、ぼく4周走るよ」「わたしは、5周」

いきいきタイムのさわやかランニングでは、1年生がよくこう言ってスタートしています。1年生が3分間で800mや1kmを走ることは、現実的には無理があります。でも、そういう気持ちで持久走に挑戦していること、1年生ながらも目当てをもって取り組む意欲が素敵だと思います。わたしは、「おう、がんばれ」と一声かけて一緒に走っています。

そんな元気で、挑戦意欲に満ちた子供たちですが、中には、「疲れるから」「苦しいから」と言って、あまり体を動かそうとしない子がいます。また、「めんどくさいから」「やりたくないから」と、学習への意欲や粘り強く考えることを嫌がる子もいます。

挑戦すれば、成功も失敗もあります。

でも、挑戦せずして成功はありません。

何度も言いますが、挑戦しないことには始まらないのです。

自分自身の殻を破る。

挑戦がすべてのスタートです。

壁が立ちはだかり、ひるむこともあります。

でも、その行動の中に成功の種子があります。

後は、行動し続けること。

ある時女神が微笑むまで行動し続けることです。



これは、トルネード投法で有名な、日本人メジャーリーガーの先駆者として活躍した野茂英雄選手の言葉です。「才能ある人が目いっぱい努力したから、大きな成功をつかむことができたんだよ」と思われるかもしれませんが、確かに、努力できることもりっぱな才能ですし、努力すれば何でも叶うわけではありません。でも、夢や成功の大小に関わらず、挑戦しないことには何も始まりません。どんなに疲れるのか、苦しいのか、そしてめんどくさいものなのかを体感することができません。そして、自分がどのくらいできるのか、成し遂げたときの喜びはどんなものなのかを知ることができないのです。

富山市出身でノーベル化学賞を受賞した田中耕一さんは、次のように言っています。

失敗からは、必ず新たな発見がある。

最近では失敗するのが楽しみになってきました。

自分の能力の100%をねらっても、ときには失敗して落ち込みます。

次は90%をねらっても、それを失敗するとさらに目標が小さくなります。

だからといって200%をねらうと失敗ばかりです。

そこで、110%とか120%をねらいます。

するとたまにはできます。

それを繰り返して、少しずつ伸ばすことを積み重ねると、

いつの間にか120%が当たり前になると思います。

失敗を積み重ねることで、発見や成功が生まれます。失敗からは多くのことを学ぶことができます。ですから、子供たちには、どんどん挑戦し、どんどん失敗してもらいたいのです。ところが、挑戦しない子は、そんな大事な失敗をも経験することができません。

相ノ木っ子のみんな、何ができるようになるの？どんな失敗するの？挑戦しないと分かりませんよ。



生き物に感謝と尊厳をもって

「でっかー。わしゃわしゃになっとる。やばい」

休み明けの朝、アサガオの本葉の枚数が増え、大きく育っているのを見て、1年生たちは驚きの声を上げていました。他にも、にじいろ花壇の花々や各学年の畑の野菜たちも成長しています。今年も、様々な植物を育てる時期になりました。登校してきた子供たちは、朝の挨拶もそこそこに、様子を見にいたり、水やりをしたり、植物の世話を一生懸命行っています。理科や総合、生活科等の学習のために育てているのですが、どの子も真剣に植物の命や成長を見つめている様子が伺えます。

「カエルって何で逃げるの?」「あなたも、自分の体よりずっと大きなものが近づいてきたら逃げるでしょ」「ダンゴムシが丸くなるのも同じなんだね」

これは、カエルの跳ぶ様子を見ていた女の子たちとわたしとの会話です。また、巣作りに励むツバメが校舎に入ってきて廊下を行ったり来たりした時には、たくさんの子供たちが「あ、ツバメだ」と歓声を上げ、ツバメの飛ぶ姿に興味津々でした。相ノ木小学校は、四方を田園に囲まれ、川の水や湧水がきれいな所です。川や田には多くの生物が泳ぎ、いろいろな野鳥が棲みついています。中には苦手な種類もあるかもしれませんが、子供たちのほとんどが生き物が好きですし、愛着をもって接します。

自分は 子供の時代からよく小さな生き物を救うた

水に落ちたものや生命を害されようとした小鳥などを救うた

そんなとき自分は「春になったらお礼に來い たくさんお礼をもって來い」

と言って放してやった

自分はそんなときに大概美しい気がしていた



これは、室生犀星の「春から夏に感じる事」という詩です。生き物の成長の様子や活動する姿から、子供たちは生命のたくましさや不思議さ等様々なことを学びます。そして、命に対するやさしさを培うものだと思います。また、そんな自然豊かな環境に恵まれていること、多くの生命に出会えることに感謝したいものです。

最後に、女性写真家の大石芳野さんの言葉です。

生命の木のように、人間があらゆる生き物に感謝と尊厳をもっていたら、

地球はこんなにも汚れなかったでしょう。

傷つくこともなかったでしょう。

ホームページにニューページ!

学校のホームページに新たなページを追加しました。「相ノ木っ子だより」と「相ノ木写真館」です。「相ノ木っ子だより」は毎月保護者の方に発行していますが、校区配布を行っていません。地域の方にも子供たちの様子や学校の思いを少しでも知っていただきたいと考え、昨年度からのものを載せました。また、校舎内外の一コマや学校から見える風景をカメラで撮影したものを「相ノ木写真館」と題して載せています。ぜひ、ご覧になってください。

行事予定(6月中旬～7月中旬)

6月15日(土)	4年親子ふれあい活動(四季防災館)	7月1日(月)	水泳教室(5・6年)
16日(日)	町P連親睦交流大会		こんにちは訪問(5年)
18日(火)	環境チャレンジ10・プール清掃	2日(火)	水泳教室(5・6年) 夢の教室(5年)
20日(木)	5年ふるさと学習	3日(水)	特別支援学級合同学習会
24日(月)	ノーメディア・スタディウィーク (～6/28(金))	4日(木)	宿泊学習(5・6年) 水泳教室(1～4年)
		5日(金)	宿泊学習(5・6年) 水泳教室(1～4年)
25日(火)	プール開き	11日(木)	団体鑑賞
26日(水)	教育委員学校訪問		
27日(木)	居住地校交流(2年)		

